

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

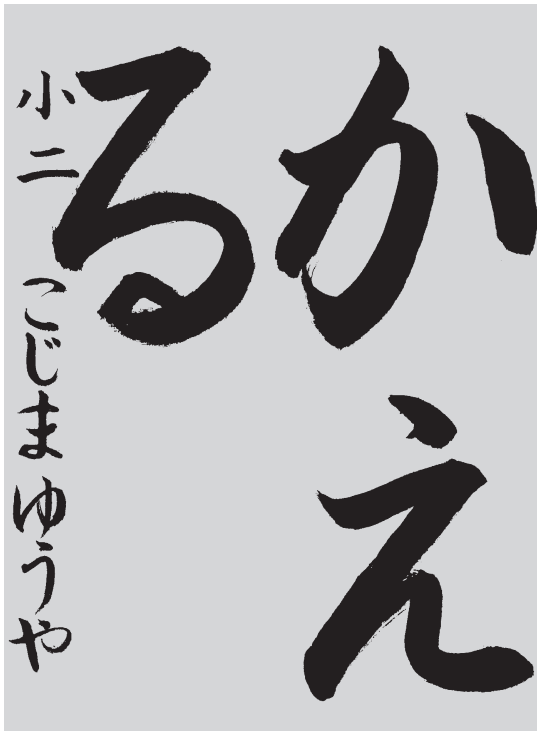


最首翠風先生

幼・小学1年参考手本



大町青蓮先生



恒次鶴城先生



小川弘舟先生

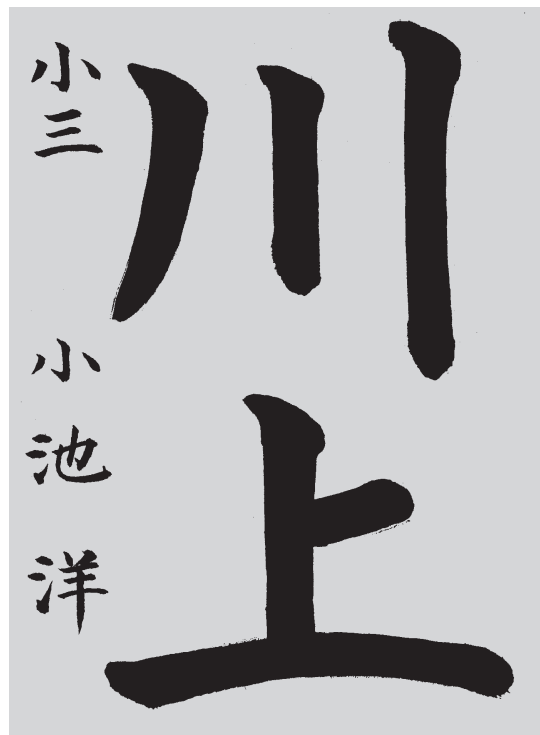
〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本

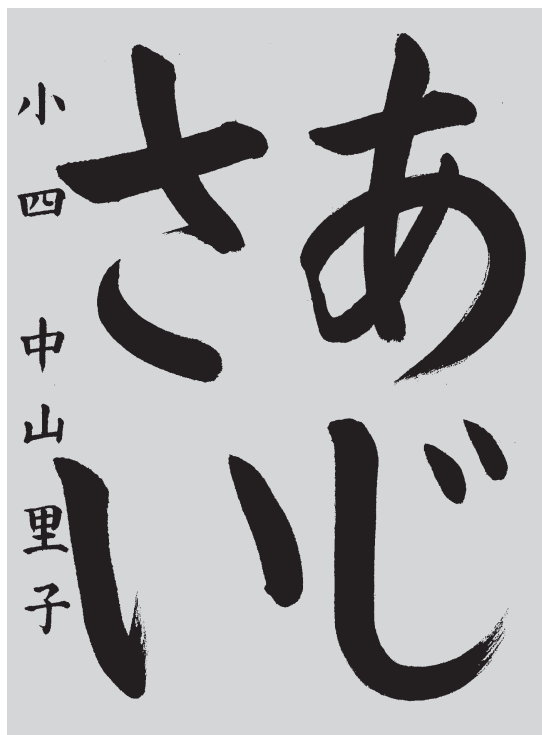


小林琴水先生

小学3年参考手本



小池蹊舟先生



小浜大明先生



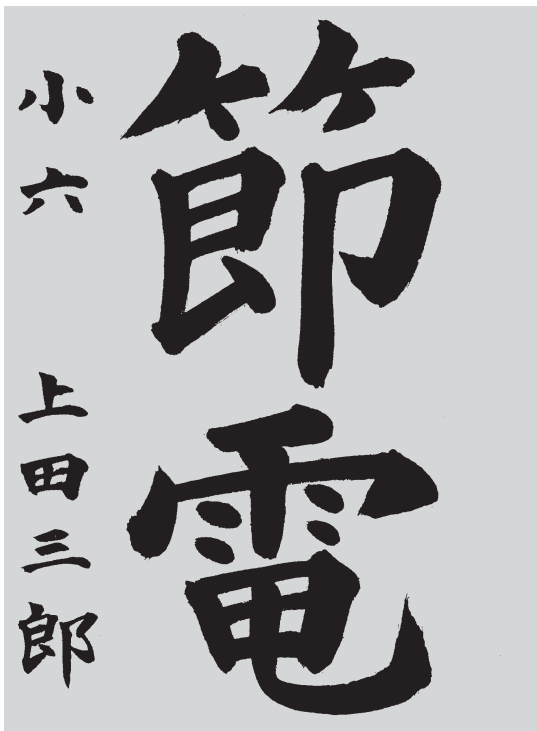
小竹石雲先生

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本

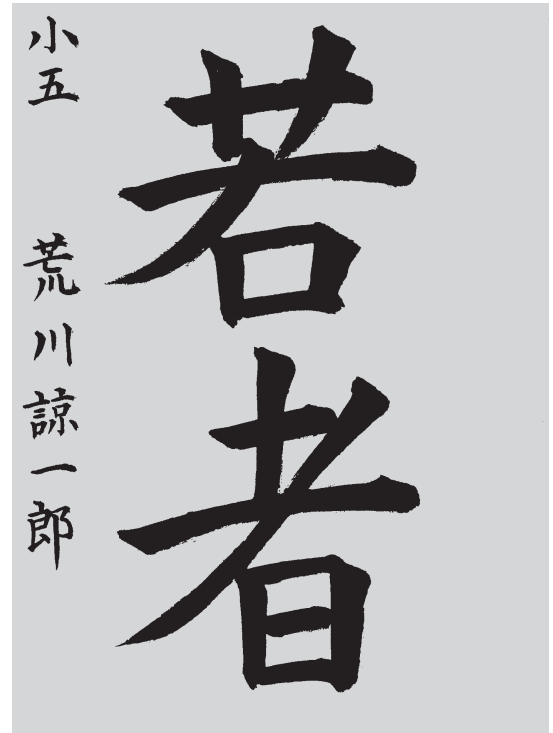


広瀬舟雲先生



辻元大雲先生

小学5年参考手本



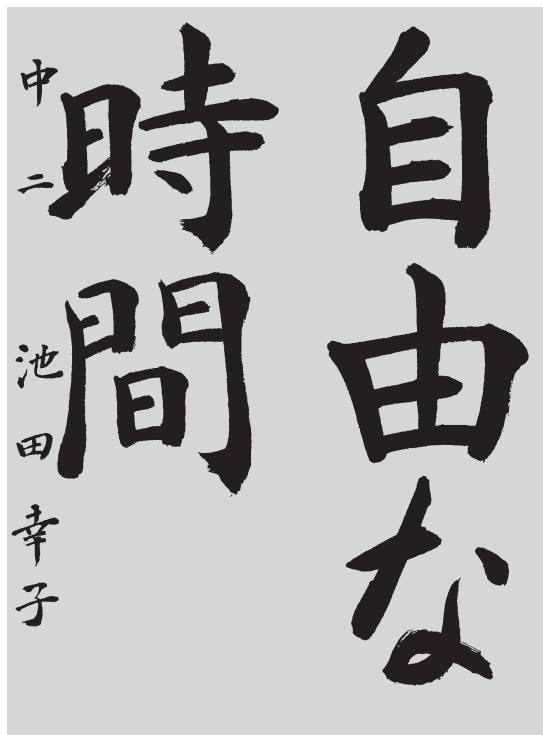
稲垣小燕先生



飯高和子先生

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

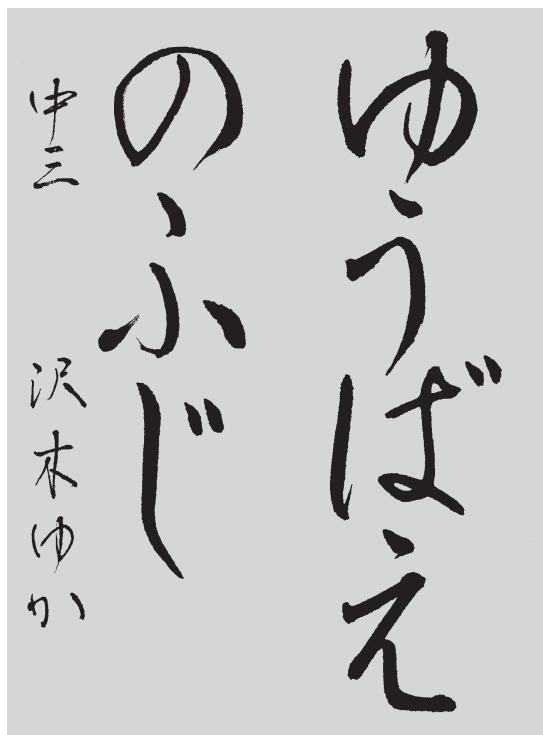
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



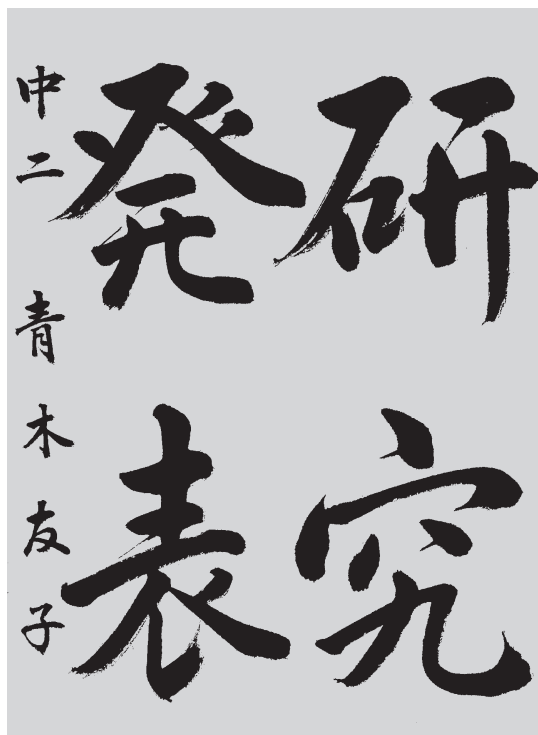
大野祥雲先生



白石和楓先生



石井明子先生



名越蒼竹先生

〔6月10日締切課題〕

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔6月10日締切課題〕 用紙は本院指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
 ※6月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、7月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(毛筆も同じ)

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

| | | | |
|--------|--------|---|--|
| 支 部 名 | | | |
| | う | | |
| だん・きゅう | が | つ | |
| | え | ば | |
| がくねん | り | め | |
| 一 | だ | の | |
| なまえ | 。 | ち | |
| | | ゆ | |
| | かまくらしん | | |

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

「おれ」にちゅうい とめる
下にさがってななめに上にあがる

「はらい」をていねいに書きましょう。

大きくなる とめてから上へ

ち ゆ
小さくかく字 (ようおん) のいちにちゅうい。

[6月10日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学3年

小学2年

| | | | | |
|-------|-----|--|----|--|
| 支 部 名 | | | | |
| | で | | | |
| 段・級 | 本 | | は | |
| | を | | っ | |
| 学 年 | 読 | | き | |
| 三 | み | | り | |
| 名 前 | ま | | した | |
| | した。 | | 発 | |
| | | | 音 | |
| | | | | |

日村草太

| | | | | |
|-------|-----|--|---|--|
| 支 部 名 | | | | |
| | 名 | | | |
| 段・級 | ま | | み | |
| | え | | ち | |
| 学 年 | が | | ば | |
| 二 | あ | | た | |
| 名 前 | り | | の | |
| | ます。 | | 草 | |
| | | | に | |
| | | | も | |
| | | | | |

青石さら

「読書」
特に「発」の筆順に気をつけて正しく書きましょう。

読 (よ) : よこが出る
音 (ね) : たてが出る
発 (はつ) : はつがしら
曲がり (まが) : 筆順に注意
フツフツ
浮いてる (う) : がちようが水に

「みちばた」
かんじの「草」「名」をただしく書きましょう。

名 (な) : はらいをまげすぎない
草 (くさ) : 中心
1, 2, 3
長く
接し方を正しく
むすびのかたち
つづけるままちぎ
いちにちゅうい

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

| | | | |
|-------|------|-------|----|
| 支 部 名 | | | |
| 段・級 | | | |
| 学 年 | 五 | | |
| 名 前 | 大西音羽 | | |
| | 付 近 | 結 び | スズ |
| | し か | 付 き | ズ |
| | 住 ん | が 強 く | メ |
| | で い | 人 間 と | は |
| | な い。 | 人 家 | 、 |
| | | | の |

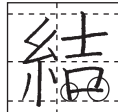
| | | | |
|-------|------|-----|---|
| 支 部 名 | | | |
| 段・級 | | | |
| 学 年 | 四 | | |
| 名 前 | 香川有月 | | |
| | て も | な り | 庭 |
| | 重 そ | に | の |
| | う | 実 | 梅 |
| | で | を | の |
| | す。 | つ | 木 |
| | | け | が |
| | | て | 、 |
| | | と | す |
| | | | ず |



「家」左右のはらい（ななめ分間）をつりあいよく書きましよう。



糸（糸へん）
弓（弓へん）
一画で書く
ハ（うかんむり）



「口」の画の接し方に注意

「スズメ」
特に「家」の字形を正しく書きましよう。



横の分間をととのえましよう。
長く



〈筆順〉
㇀ ㇁ ㇂ ㇃

折れの方に注意しよう。



〈筆順〉
一 广 宀 庭 庭
組み立て方 广（まだれ）

「梅の木」
庭の組み立て方に注意して書こう。

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

| | | | |
|-------|------------|--------------|--------------|
| 支 部 名 | 産に登録されました。 | 平成二十六年に世界文化遺 | 群馬県の富岡製紙工場は、 |
| 段・級 | | | |
| 学 年 | | | |
| 名 前 | | | |
| 高橋 智子 | | | |

| | | | |
|-------|-------------|------------|------------|
| 支 部 名 | 放射状にのびています。 | 路は、城を中心として | わたしたちの市の道の |
| 段・級 | | | |
| 学 年 | | | |
| 名 前 | | | |
| 山本 龍 | | | |

平成 登録

〈簡単な行書〉

中心
登録されました

『世界文化遺産』
漢字はかなよりも少し大きく書きましょう。

状

〈筆順に筆順〉
丨 丨 丨 状 状

射

注意
まじわる位置・方向・長さに

城

曲げすぎない
〈筆順に筆順〉
㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌ ㇍ ㇎ ㇏ ㇐ ㇑ ㇒ ㇓ ㇔ ㇕ ㇖ ㇗ ㇘ ㇙ ㇚ ㇛ ㇜ ㇝ ㇞ ㇟ ㇠ ㇡ ㇢ ㇣ ㇤ ㇥ ㇦ ㇧ ㇨ ㇩ ㇪ ㇫ ㇬ ㇭ ㇮ ㇯ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ ㇴ ㇵ ㇶ ㇷ ㇸ ㇹ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌ ㇍ ㇎ ㇏ ㇐ ㇑ ㇒ ㇓ ㇔ ㇕ ㇖ ㇗ ㇘ ㇙ ㇚ ㇛ ㇜ ㇝ ㇞ ㇟ ㇠ ㇡ ㇢ ㇣ ㇤ ㇥ ㇦ ㇧ ㇨ ㇩ ㇪ ㇫ ㇬ ㇭ ㇮ ㇯ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ ㇴ ㇵ ㇶ ㇷ ㇸ ㇹ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ

『わたしたちのまち』
特に終画（点の位置）に気をつけてまどめてみよう。

筆順を学ぼう ㊦

〔6月10日締切課題〕

中学生(行書)

| | | | |
|----------------------------|-----------------------|----------------------|------------------|
| 6年 | 5年 | | 4年 |
| 畑 | 物 | 若 | 雨 |
| はたけ はたけ | もの モブツ | わか・い ニヤク も・しくは | あめ あめ |
| ハ 少 火 畑 畑 畑 | ノ ム 牛 物 物 | サ サ 若 | 一 雨 雨 雨 |
| 中学 | | | 6年 |
| 表 | 発 | 究 | 節 |
| おもて あらわ・す あらわ・れる | ハツ ハツ | きわ・める キユウ | せつ ふし |
| 一 十 圭 表 表 | マ マ 八 八 発 | 六 六 究 | 々 竹 節 節 |

| | | | | |
|-----|-------|---------|------|----------|
| 支部名 | | | | |
| 段・級 | | | | |
| 学年 | 中三 | | | |
| 名前 | 谷川 岳朗 | | | |
| | 遺産に | 平成二十六年に | 登録され | ました。 |
| | | 平成二十六年に | 世界文化 | |
| | | | 群馬県の | 富岡製紙工場は、 |

中学生の硬筆、六回目の
行書手本です。
新年度より二か月に一回
行書を掲載します。中学
生は、楷書・行書の両方
に挑戦してください。

行書を学ぼう

(214)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

夕

夕

映

映

え

時

時

間

間

自

自

由

由

ひらがなの字源

(214)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

| 源字 | 字形 |
|----|------------------|
| じ | 之 之 之 |
| ふ | 不 ふ ふ ふ |
| の | 乃 乃 乃 の |
| え | 衣 衣 衣 え |
| ば | 波 波 波 は |
| う | 宇 宇 う う |
| ゆ | 由 由 ゆ ゆ |

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

「結果成自然」

最首 翠風



書道芸術院春華賞

第68回併催第66回書道芸術院展
全国学生展



漢字部
最首 翠風

この度は「書道芸術院春華賞」を賜り厚く御礼申し上げます。
 昨年は師種谷扇舟（書道芸術院元会長）の生誕100年に当り、成田山書道美術館にて記念の大展覧会が、一か月間にわたって開催されました。展示された書や資料をたどりながら、弟子の一人である自らの不勉強を痛いほど感じたのでした。それが私に影響したとは思えません。昨秋より私の作品に、ある勢いがついたかもしれません。
 これ迄の形式を変え、墨も手磨りしました。「女流100人展」出品作と、5文字の構成も変えています。
 「毎日新聞」夕刊の「書の世界」にもとり上げて頂き、何かを突破している、このように意欲が満ち満ちている、とのコメントを読んだ時、「書は伝わるもの」の意を強くいたしました。
 一人ひとりの個性を育てて頂いた故郷、谷扇舟師と諸先生方に感謝申し上げます。

書道芸術院大賞



漢字部
一森 琴映

「青山横」



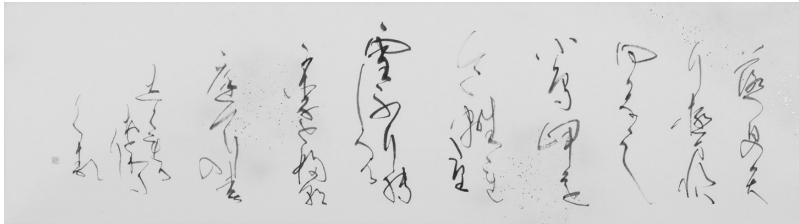
一森 琴映

この度、私のような若輩者が歴史ある書道芸術院展におきまして幸運にも栄えある大賞を頂き、誠にありがとうございます。ご指導いただきました恩地春洋先生、小林琴水先生をはじめ、

は祖母かもしれません。
 まだまだ未熟な私です。書道が続けられる恵まれた環境に感謝し、これからもマイペースに少しずつ書の世界を勉強していきたいと思っております。今後とも、ご指導ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

女遠社、書道芸術院の諸先生方、諸先輩方、そして理解ある家族の支えのおかげと深く感謝しております。
 今回賞を頂いた書作品の漢詩は、昨年10月に他界した祖母へ冥土の土産として選んだものです。書道芸術院展の出品にあたり、祖母への思いを込めて練習し始めた一枚目を棺の中に入れてました。この受賞を一番喜んでくれたのは祖母かもしれません。

書道芸術院準大賞



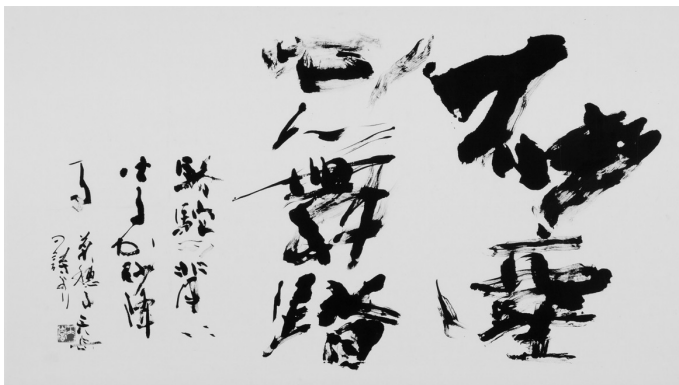
「落つ日の」

仙場美枝子



「同題仙遊観」

福留千代華



「鳴沙降る日」

古谷 天岳

「昇」



大庭 幸石

「夏の午後」



宮本 紅雪



「冬華」

市川 紫泉

白雪紅梅賞



「このゆふべ」

都丸みどり



「便至塞上」

小川 白柳



「月蛾」

柿本 紀子



「縁」

小野 朱星



「妙法蓮華經如来壽量品」

目良 珠山



「曲江有感」

西垣 絹香



「徳以道樹礼以仁清」

中谷 大雅



「宰」

門脇 信子

平成

年

月

日

◇ 登録用紙 ◇

| | | | | | |
|------|--|-----|--|-----|--|
| 団体番号 | | 支部名 | | 先生名 | |
|------|--|-----|--|-----|--|

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月20日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に行います。

※登録申請時の学年を明記ください。



| 氏名 | ふりがな | 学年 | | | 備考 |
|----|------|----|---|---|----|
| | | 幼 | 小 | 中 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

◇ 部数変更届 ◇

| 現在 | 月号から | 増減 | 合計 |
|--------|------|----|----|
| 冊 | | | 冊 |
| 事務局使用欄 | | | |

編集余録

○2月に東京都美術館で開催された第66回全国学生書道展と併催の第68回書道芸術院展の上位入賞作品を掲載しました。書道芸術院は、漢字、かな、現代詩文書、篆刻刻字、前衛書の5部門を擁する総合団体です。「春華賞」は審査会員の中でただ1人、審査会員候補の中から「大賞」1人、「準大賞」5人、「白雪紅梅賞」10人、とても難関です。バライティーに富んだ作品をじっくりと見てください。誌友の小中学生の皆さんが書道をずっと続けて高校生、大学生になって『書道芸術院展』に出品してくれるととても嬉しく思います。出品をお待ちしています。

○年度末の3月に、元文部科学省教科調査官、東京学芸大学教授、毎日書道展審査会員の長野竹軒先生に『書道芸術学生版』の一年分の参考手本を中心に監修をして頂きました。皆さんが年度末に通知表をもらうのと同じ心境です。とてもドキドキします。長野先生の厳しい指導を受けて、更に良い本の発行を目指し気持ちも新たに頑張る新年度です。

(鄭街)

漢字に親しもう

⑥3

六月号四年生の毛筆課題「雨水」から「雨」にスポットを当てて、成り立ちから使い方、それから「雨」と同じように「絵からできた字」をおぼえよう。

雨

おん ウ
 部首 雨(あめ)
 画数 8

雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨
あめ あめ あめ あめ あめ あめ あめ あめ

いみ・じゆく

- ①あめ。あめふり。―雨足・雨具・雨雲・雨天・雨量・降雨・風雨・霧雨
 - ②あめのようにふるもの。―雨飛・弾雨
- つかいかた
- 今日は雨がふりそうだ。
 - 雨具の用意をわすれないように。
 - 今月の雨量をはかる。
 - 梅雨前線が南へ下がる。
 - 春雨がしとしととふる。
- さんこう
- 「一」は天空、「冂」は雲、「ミ」は水滴を表す。つまり、空から水のおちてくるようすを表している。

絵からできた字をおぼえよう

| | | | | |
|--|---|--|--|---|
|  <p>どうぶつ の</p> <p>角</p> |  <p>貝がら を 二まいも って いる貝</p> <p>貝 貝</p> |  <p>木に なっ てい る まる い実</p> <p>果</p> |  <p>まっ か に も え て い る</p> <p>火 火</p> |  <p>空に うか んだ 雲か らお ちる あめ</p> <p>雨 雨</p> |
|  <p>人が 口を あけ から だを くほ ませ たか たち</p> <p>欠</p> |  <p>あたま の 大き い 子ども</p> <p>兄</p> |  <p>さかな のか たち</p> <p>魚 魚</p> |  <p>うし の あたま の部 分</p> <p>牛 牛</p> |  <p>矢を い る と き の ゆみ</p> <p>弓</p> |